

## 令和4年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和4年度 第2回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和4年10月18日 午後1時30分から午後2時57分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	初谷委員、田守委員、古川委員、鈴木(健)委員、鈴木(研)委員、黒澤委員、望月委員、西村委員
5	市側出席者	山下文化課長、宮澤中央図書館長、金子豊科図書館長、富田三郷図書館長、伊藤堀金図書館長、青木明科図書館長、奈良澤課長補佐、松田主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人
8	会議概要作成年月日	令和4年10月25日

### ○会議の概要

- 1 開会 (望月会長)
- 2 あいさつ (山下課長)
- 3 協議事項
  - (1) 令和4年度安曇野市図書館事業進捗状況について
  - (2) 令和3年度の図書館評価について
  - (3) 令和5年度安曇野市図書館事業計画(素案)について
  - (4) その他
- 4 勉強会
- 5 その他
- 8 閉会

### 3の協議事項概要

議 長 「令和4年度安曇野市図書館事業進捗状況」を事務局よりお願いしたい。

事務局より説明

「令和4年度安曇野市図書館事業進捗状況」の質問に関して資料4及び資料5で回答。

議 長 事務局から令和4年度事業の進捗状況について事前提出のあった質問と回答の説明があったが、これについて補足、ご意見や質問があれば挙手をお願いしたい。

委 員 資料5は、とても分かり易くて有難い。中身について、事業実施率の母数46件とあるのは年間計画の数なのか。もし年間の件数であれば、9月までの計画数の母数にしていきたい。上期

の計画に対してどのような進み具合かというのをみるため。また、実施率の貸出点数についても折角評価されていることから、理由として考えられることがあると思う。例えば金曜日であるからとか、去年はコロナ禍であったからなど、理由がわかればわかる範囲で良いので示していただきたい。

事務局 確かに、上期だけの事業予定数で示すべきだったところ、全事業数を入れてしまい、申し訳なかった。上期では、結局延期したのは1件のみということになる。まず、貸出件数については、減となった明確な理由はわからないが、今までは世の中でいろいろ楽しいことが溢れて天気がいいと外に出かけてしまい雨が降ると割と来てくださる傾向もあったが、今は足が遠のいてしまっている方は本当に遠のいてしまっている状態で、この方々をいかに呼び戻すかがテーマである。明確な答えができなくて申し訳ない。

委員 わかる範囲で結構なので考察できる場所はお願ひしたい。この資料は各論を示している。表紙をつけてもらえると分かり易いと思う。進捗状況をみても事業計画をみてもいきなり各論が始まっており、総論として全体のまとめが表紙についていると中身が分かり易い。その辺もぜひ検討をお願いしたい。

事務局 年度ごと「主要な施策の成果の概要」と「事務事業評価」、更に大きく「行政評価」という形で市のホームページにまとめたものが掲載されている。その資料と重なると思うが、なるべく資料はつけるように検討したい。公には図書館の事業の成果と課題、予算もすべて上がっていて、図書館の方の評価としてはこうゆう評価をしている資料が好評されている。今日はご用意していないがそちらをご覧くださいよいかと思っている。ホームページで見てもらえたらと思う。

委員 折角いろんな資料を図書館で作られていると思うので、それを歴史的にみてあとから見た人がすぐわかるような形で残してあれば事務の継続性というか後から見た人も非常に分かり易いとか思ったのでお話をさせていただいた。

委員 資料5について、沢山ある中からダイジェスト版にしてあり分かり易い。提案的な事と質問が2つずつ。資料5の項目の2番夏休み調べ学習支援講座が思ったより参加者が集まらないと書いてある、それがなぜだろうか検証されているかどうかと言う事。私は徳高西中で有明タイムスのお手伝いをさせて頂いたことがある。夏休みの前に宿題を出したが、夏休みは、祖父母の代とか離れている大人と付き合うチャンスが結構多いことから、今当たり前と思っていることが昔どうだったかという付け合わせをしてもらい、どう感じたか、非常に概念的に何かを探すといた事を自分の身の回りの問題として疑問を出させたり答えを出させたりした。夏休み前に、学校と打ち合わせをしておいて終わった後それがどうなったか。確実に評価をすることができるスケジュールで、テーマの立て方をしてみたらどうか。3番に関して、図書館フェスタの成果の2行目について、課題の1

行目参加する人の意欲が市民に見られなくなったことの結果を書いているがこの原因は何か。原因がわかれば 2 番と同じように大人も改めて意味を感じてくれるような仕掛けをつくっていったらどうか提案する。

事務局 夏休み調べ学習支援講座が集まらなかった一番大きな理由は、開催が時期早かったからと思われる。6 月も草々なので時期的なことがあるかと思う。他の二つについては検証中と言う事でお願いしたい。図書館フェスタについて主体的な考えとして、比較的年配の方は意欲があると思う。意欲のなくなった方は割と若い方、実際にリアルなところに出てくるというよりは、バーチャルの世界とかいろんな楽しみができて中々参加もリアルの方に参加する意欲がなくなったのではないか。

議長 ではこの項は閉めさせて頂く。続いて 2 番、令和 3 年度図書館評価について事務局よりお願いしたい。

事務局 資料 2 の質問に関して資料 4 及び資料 5 で説明。

議長 この件に関して何かご意見のある方はお願いしたい。

委員 まず、資料 2 の新たな資料の取りまとめの仕方が、質問の委員の人順に書かれているが、質問内容や触れる内容はあちこち順番が飛んでしまう。説明の都合や時間の節約からしても、P1 から最後 P29 までの順を追ってやると分かり易くなる。ダブってもそれの方が分かり易いのではないか。これは次回以降の要望とする。質問は 28 ページの利用率、各種サービスの利用状況で予約件数がインターネット予約はすべて中央図書館のアカウントとしてカウントすることだが、見る側の立場からするとサービスの利用状況で予約しているのはどこの地区の人であるのか、それを処理するところのアカウント数よりもどこに住んでいる人がどのくらい予約をするのかという事が、調べようによっては受け取りの図書館でわかるはずである。その受け取りの図書館でも何等かサービスに寄与しているのであれば、むしろ受け取る図書館の中継で予約件数を集計しておいた方がよりユーザー側の立場の資料になるのではないかと思う。

委員 一つ目は職員の構成表からわかる非正規職員が圧倒的で図書館だけで決められる問題ではないし、何も安曇野市だけじゃなくて、全国の地方自治体の職員、非正規職員が増えている現実があることは私も承知している。法の改正や条例が伴ってくる。これは図書館だけの問題ではないとすれば、安曇野市として非正規職員の待遇改善をどう説明していくのか、言い換えれば検討部会を設けて積極的に検討していく必要があるのではないのか。これは山下課長がおられるので、他の部署にも働きかけて、そうしていかないといつまでたってもこの問題は解決していかない。やはり図書館というのは長年の経験とか実績とかいろいろ本に明るい人たちがいてこそ図書館の価値が高まると思う。重要な問題である。是非改善を具体的に検討してほしい。これは要望である。続けて、私の

質問と共に書いていただいているが、これは前年に対する図書館としての内部資料なわけですが、数字をポンと出されて、図書館としてどう評価して、それに対して委員はどう考えがあるのかと、そういう手順の方が、図書館の考え方と委員の考え方を擦り合わせたり、検討して問題を明るくして議論できるのではないかと。単にデータだけではなく、現状にどう考えていくのかと資料で一つおきに提供をしていただければと思う。

事務局 現在、会計年度職員の処遇待遇につきましては、私共の方も職員担当等とこういったご意見があると事話している。すぐには改善と言う事は難しいと思うが、今後全国的なもの、改善方向に向かっていくと思いますので、それに合わせて市の方も対応していく。このようなご意見は常に伝えているので、よろしくお願ひしたい。重々私たちも感じているところである。

議長 続きまして、「3 令和 5 年度安曇野市図書館事業計画素案について」事務局からお願ひしたい。

事務局 資料 3 の質問に関して資料 4 及び資料 5 で説明。

議長 この件に関して何かご意見のある方はお願ひしたい。

では「4 その他」、事務局からお願ひしたい。

事務局 その他の質問に関して資料 4 で説明。

議長 以上の件についてはこれにて閉めます。

本日予定していました協議事項はすべて終了いたしました。これをもちまして協議事項と閉じさせていただきます。ありがとうございました。

以上